

みんなで作る「快・適」なまち！ 千葉市がめざすスマートシティ



スマートシティとは

都市や地域が抱える諸課題の解決を行い、また、価値を創出し続ける持続可能な都市や地域

ICT等の新技術や官民各種のデータ活用による

市民一人一人に寄り添ったサービスの提供

各種分野におけるマネジメント(計画、整備、管理等)の高度化など

【出典】スマートシティ・ガイドブック(内閣府、総務省、経済産業省、国土交通省)

(1)スマートシティに取り組む背景

千葉市は、将来予想される重要な社会変化に対し、持続可能なまちづくりを進めるため、急速に進展するテクノロジーと、これまで培ってきたICT活用に関するノウハウを最大限に活かし、地域とともに「スマートシティの実現」を目指します。

千葉市を取り巻く重要な社会変化 (今後直面する社会変化)

✓ 人口減少・少子高齢化

- 高齢化率は2055年に約4割まで上昇見込み
- 高齢者の増加に伴う社会保障費の増大
- 生産年齢人口の減少に伴う税収減

✓ 地球温暖化に伴う気候変動リスク

- 自然災害の深刻化・頻発化など市民生活に甚大な被害が発生(電力・通信インフラへの影響)
- 気温や海水温・海面水位のさらなる上昇

✓ 大地震の発生による被災リスク

- 政府は、本市を含む南関東地域でマグニチュード7クラスの地震が発生する確率を、今後30年間で70%程度と推測

✓ 新型コロナウイルス等の感染症リスク

- ポストコロナ社会の到来
- デジタル化の急速な進展。経済活動・社会活動におけるサイバー空間(仮想空間)の活用の加速

✓ 公共インフラの老朽化

- インフラの老朽化が一層進行し、更新時期を迎えるインフラが多数発生
- インフラの更新に莫大な費用が発生

(2)千葉市の目指すスマートシティ①

スローガンは…

こちよく

ちようどいい

みんなで作る「快・適」なまち！



ポイント

1

個別最適 … あらゆる市民が自分に最適な暮らしを実感

- ・テクノロジーの活用などにより、多様な選択ができる
- ・一人ひとりが自分にあったサービスを受けられる

ポイント

2

全体最適 … 自然環境に配慮し、大切な資源を活かした、持続的な発展

- ・自然環境に配慮した持続可能なまちづくりが必要
- ・限りある時間・空間・その他の資源を賢く有効に利用

ポイント

3

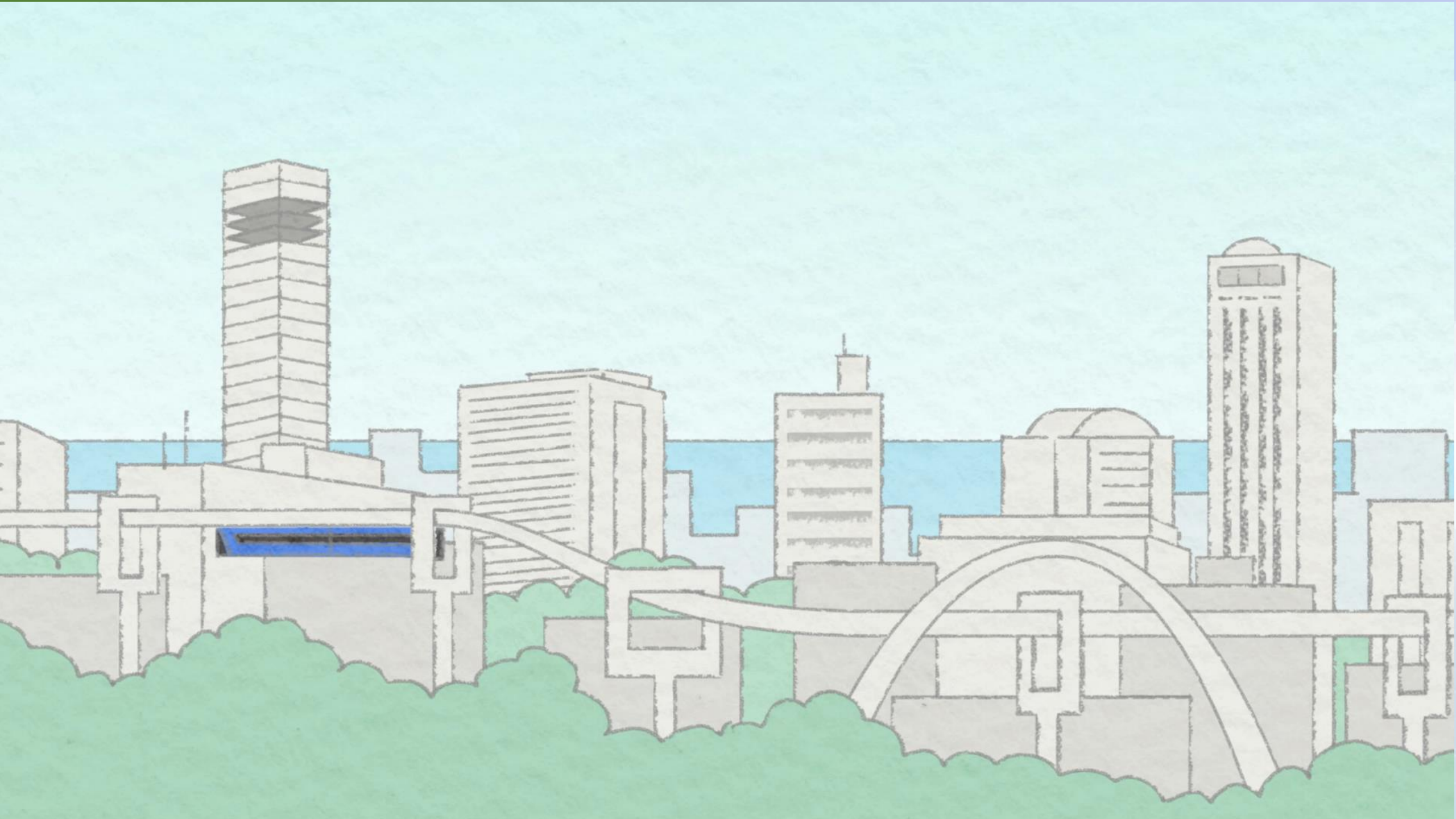
市民中心 … 様々な主体が、地域の課題解決、新たな価値を創造

- ・市民とともに取り組むことでニーズを反映した解決を図る
- ・民間企業等のテクノロジーを活用し、新たなサービスを創出

(2)本市の目指すスマートシティ②(イメージ動画)



【イメージ動画】スマート家の一日（約6分）



(3) 取組みの方向性 ～5つのスマート～

目指すスマートシティの実現に向け、あらゆる分野を市民(利用者)目線で

1. 暮らしがスマート!

2. ビジネスがスマート!

3. 学びがスマート!

4. まちがスマート!

5. 市役所がスマート!

上記の5つに分類し、市民ニーズや地域課題に基づく様々な取組みを分野横断的に順次実施していきます。

(3) 取組みの方向性 1. 暮らしがスマート！①

目指す姿

あらゆる市民が
場所や時間を問わないサービス、活発なコミュニケーションに
よって、健康な生活、充実した生活を得られる

サービスイメージ



シェアリングエコノミーの推進



多言語による情報発信・
相談対応の強化



ヘルスケアデータ分析を
活用した保健指導



キャッシュレス決済



(3)取組みの方向性 1.暮らしがスマート！②

本市の取組例

実証実験→実装

ウェアラブル端末の装着により収集されるデータを活用した特定保健指導

特定保健指導の対象者に腕時計型のウェアラブル端末を装着していただき、日々収集されるバイタルデータに基づく特定保健指導を行うことによる健康面への効果や、特定保健指導の実施率向上への効果を検証する実証実験を実施しました。

【実証期間】

令和4年8月～令和5年2月

【使用するウェアラブル端末】

Fitbit

【対象者】

国民健康保険の特定保健指導
対象者(希望者のみ)



参加者募集 健康サポート（特定保健指導）のご案内
令和4年度の健診結果より健康サポートが必要な方にお送りしています

さあはじめよう！
生活習慣改善プログラム

参加者の声

Fitbitで装着したからコメントがあったり、「一人じゃない」とやる気に繋がりました。

Fitbitを巻ける事で歩数を見る事が楽しくなりました。

大満足！ やっばりいいね。

健康サポート（特定保健指導）とは？
健診結果から、生活習慣病の発症リスクの高い方を対象に、管理栄養士や保健師などの専門職があなたの生活習慣改善に向けたサポートをします。また、ウェアラブル端末を装着し、アプリで自分の行動をモニタリングしながら改善に取り組みます。**費用は無料**

特設

【機能一部紹介】
・歩数測定
・心拍測定
・睡眠の質の測定
・運動（ラン・水泳・自転車など）

使用機種はこちら
フィットビット インスパイア 2
Fitbit INSPIRE 2

※プログラム終了後もそのままご自身でお使いください

(3) 取組みの方向性 2. ビジネスがスマート！①

目指す姿

あらゆる人材が、活躍できる多様な就労環境のもと

- ・働く人が、仕事と生活のバランスを保ち、やりがいや向上心をもって働く
- ・事業者が、新しい価値の創出や生産性の向上を実現

サービスイメージ



RPA、ロボット等の導入による負担軽減



積極的な技術・アイデア導入
社会ニーズに対応した産業創出



就業時のマッチング支援
多様な人材の社会進出促進



テレワークの促進や
柔軟な勤務体系



本市の取組例

実施中

スマート農業の推進

高齢化に伴う農業経営者の減少や農地が年々減少の傾向にあることを踏まえ、テクノロジー等の活用により、多様かつ意欲ある担い手の出現による活力ある農業の実現をはじめ、先端技術を用いた省力化・効率化された農業の実現等を目指し、スマート農業を推進しています。

● 農政センターの機能強化

市内農業者が新たな技術に触れ、体験できる場としてリニューアル



● データを駆使した農業経営の支援

農業データを総合的に見える化し、農業者の経営をサポート



● スマート農業技術導入支援

ICTやロボット技術を活用した機器や農業機械の整備などに対する支援



(3) 取組みの方向性 3. 学びがスマート！①

目指す姿

あらゆる市民が、

- ・時間や場所を問わず、多様な方法で、生涯にわたり個々に応じた質の高い学びに取り組むことができる
- ・千葉市に対して愛着を持ち、郷土について学ぶことができる

サービスイメージ



オンライン学習などICT技術の活用
・デジタルデバイドの解消



生涯学習に関する
情報提供の充実



データを活用した指導・
学習コンテンツの充実



文化財のデジタル化
による保存・活用



本市の取組例

実施済

デジタルミュージアム

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う、新しい生活様式に根差した取組みの一環として、文化芸術の魅力と最新のテクノロジーを組み合わせ、より多くの方に安心して文化芸術を楽しんでいただけるよう、千葉市美術館においてデジタルミュージアムを開催しました。

【開催期間】

令和3年1月～令和3年2月

【開催場所】

千葉市美術館1F さや堂ホール

【題材作品】

千葉市美術館所蔵の浮世絵(5作品)

【展示作品例】

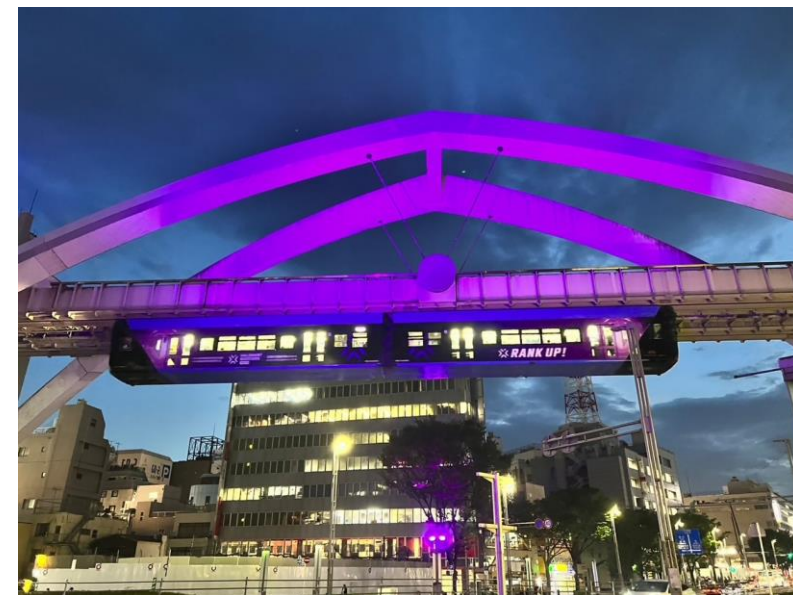
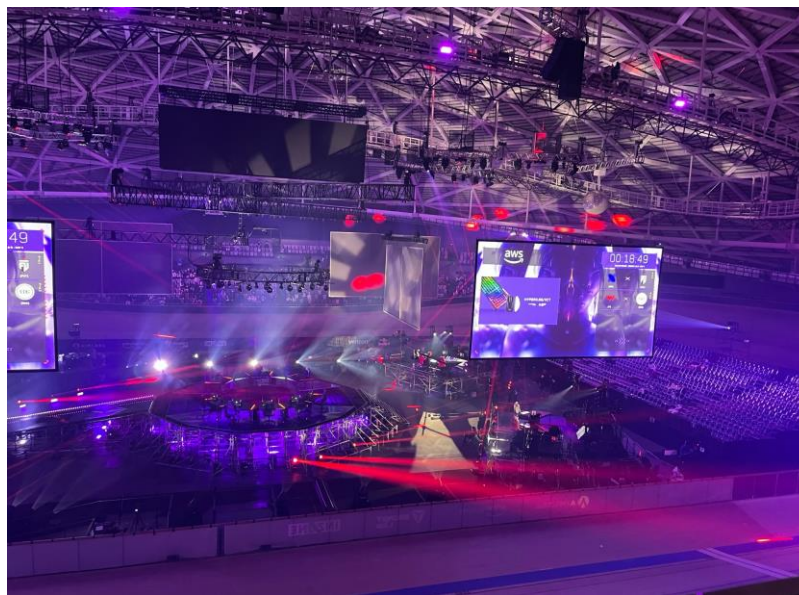
- ・ムービングアート
体の動きによって絵画が動いているように見えます。
- ・空中映像
液晶パネルを操作することなく、絵画の拡大等ができます。



eスポーツの取組み

6月に千葉市では、
有名なeスポーツの国際大会が開催されました。

日本初!



『VALORANT Champions Tour Masters TOKYO 2023』

令和5年6月11日(日)～6月25日(日)【12日間】

主催者:ライアットゲームズ

予選: TIP STARドーム【10日間】観客1日2,000人(計20,000人)

決勝: 幕張メッセ 【2日間】観客1日10,000人(計20,000人)

eスポーツの取組み



kiramekiclub.chiba
千葉県役所

...

10月には千葉県役所でも！ 第1回きらめきクラブちば eスポーツ交流大会

千葉県初！

令和5年10月17日(火)千葉県役所で開催

とても盛り上がっていました！
選手だけでなく、
観戦している皆さんも楽しめます！！



©Bandai Namco Entertainment Inc.



いいね！10件

kiramekiclub.chiba eスポーツ交流大会 part3

出典:きらめきクラブちば インスタグラム



eスポーツの取組に大いに期待！！

(3) 取組みの方向性 4. まちがスマート！ ①

目指す姿

あらゆる市民が、

- ・暮らしを支える充実した基盤のもと、安全・安心な生活を送ることができる
- ・環境にやさしく、緑や水辺と調和した、千葉市の魅力を感じる

サービスイメージ



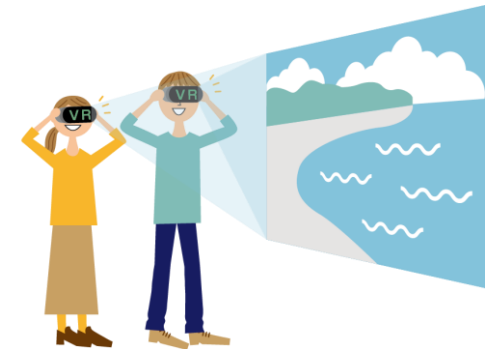
MaaS、次世代モビリティサービス



カメラやAIを用いた
危険箇所の把握



脱炭素社会に向けた
再生可能エネルギーの活用



地域の魅力の再発掘・
磨き上げ



本市の取組例

実施中

避難所への太陽光発電設備・蓄電池の設置

平時における市有施設の温室効果ガスの排出抑制と、災害時における避難所の電力を確保することを同時に実現するため、発災時の生活維持拠点となる避難所(小中学校・公民館)に、太陽光発電設備と蓄電池の設置し、再生エネルギーの活用による電源バックアップ機能の強化を進めています。

【整備期間】 令和2年度～令和4年度

【設置場所】 避難所(小中学校・公民館) 182か所

【特徴】国庫補助金の活用や民間事業者との連携により、千葉市の追加負担なく事業化を実現(設備の設置・維持管理・撤去まで、すべて事業者が負担)



太陽光パネル



蓄電池・パワーコンディショナー等

(3) 取組みの方向性 5. 市役所がスマート！ ①

目指す姿

- ・市民を中心とした多様な主体が市政に参画し、共に公共サービスを創り、地域課題を解決することができる
- ・一人ひとりのニーズに合わせた公共サービスを選ぶことができる
- ・市役所は、積極的にスマートシティの実現をリードする

サービスイメージ



ICTを活用した情報共有



サービスのオンライン化



プッシュ型サービス・
対話型サービス



市政に関する情報への
接触機会の向上



本市の取組例

実施中

ICTを活用した情報共有

「市民全員参加のまちづくり」や「時間を返す」市民サービスの一環として、ICTの活用による情報共有を進めています。

ちば市民協働レポート「ちばレポ」



地域で起きている様々な課題を、スマホ等を使って市民がレポートすることで、市民と市、市民と市民の間で課題を共有し、合理的・効率的に解決することを目指すサービスです。

【取組の趣旨】

- ・まちづくりへの協働意識の高まり
- ・いつでもどこでも誰でも行政・市民と共有可能
- ・行政の業務処理の効率化

区役所窓口混雑状況配信サービス

| 混雑状況 | |
|---------------|------|
| 住民異動（転出・転入など） | |
| 最終呼出番号 | 1036 |
| 次回呼出予定番号 | 1037 |
| 待ち人数 | 1人 |
| 待ち時間 | 4分 |
| 保留人数 | 1人 |
| 戸籍届出（離婚・出生など） | |
| 最終呼出番号 | 2224 |
| 次回呼出予定番号 | 2225 |
| 待ち人数 | 3人 |
| 待ち時間 | 12分 |
| 保留人数 | 0人 |
| マイナンバー・公的個人認証 | |
| 最終呼出番号 | 3004 |
| 次回呼出予定番号 | 3005 |

パソコンやスマートフォンから、区役所窓口(市民総合窓口課)の待ち人数や時間、呼び出し中の番号をリアルタイムで表示したり、窓口の呼び出し順が近づいたらプッシュで通知するサービスです。

【プッシュ通知先】 LINEもしくはEメール

- 【取組の趣旨】
- ・区役所滞在時間の最小化
 - ・来庁者の分散化による混雑回避

本市の取組例

実施中

市役所への手続きのオンライン化

市役所への手続きは、市役所の開庁時間に窓口に行く必要があるなどの課題に対応し、「行かなくていい、待たなくていい、使いやすい市役所」の実現を目指し、市役所への手続きのオンライン化を進めています。現在、年間手続件数の約8割に相当する手続がオンラインで可能となっています。

ちば電子申請サービス



本市では、主に「ちば電子申請サービス」によりオンライン申請を受け付けています。パソコンやスマートフォンからご利用いただけるサービスです。

https://s-kantan.jp/city-chiba-u/offer/offerList_initDisplay.action

【オンラインで申請可能な主な手続】

- ・住民票の写しの交付申請
- ・戸籍謄抄本の交付申請
- ・転出届
- ・印鑑登録証明書の交付申請
- ・戸籍の附票の写しの交付申請
- ・千葉市立学校への欠席遅刻連絡 など

本市の取組例

実施中

「あなたが使える制度お知らせサービス～For You～」の提供

各種手当の受給や健康診査などの利用について、市民の皆様が自ら検索や問い合わせを行う負担を軽減するため、市が保有する住民情報を活用して、各制度の受給対象者となる可能性のある方に対し、LINEのメッセージにより個別にお知らせすることで、受給漏れの防止を図るサービスです。

Before



子どもの予防接種を忘れてた！
調べる時間もないし、
何とかならないの!?

父子家庭で金銭的に余裕がない。
仕事・家事・子育てと時間の余裕
もないし、どうすれば…

After

あなたのLINEアカウントへ
各種制度をプッシュ型でお知らせ！



千葉市公式
アカウント

千葉市です。
お子さんが〇〇の予防接種を受診できる
月齢となりました。詳しくは、
ホームページをご確認ください。

千葉市です。
あなたは児童扶養手当を受給できる
可能性があります。〇〇区こども家庭課
までご相談ください。

(3) 取組みの方向性 5. 市役所がスマート！ ⑤

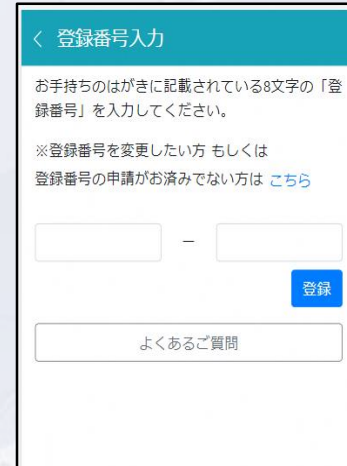
【サービス登録方法・手順】



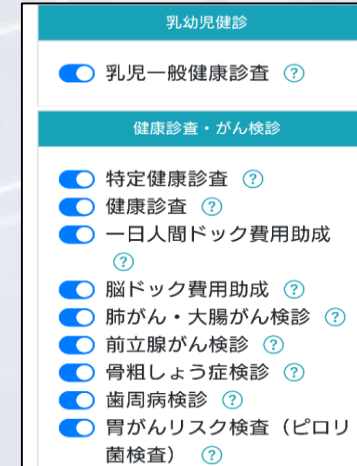
①千葉市公式LINEから「**お知らせサービス**」を選択



②「**登録番号申請**」を選択。後日、千葉市より登録番号を記載したはがきが届いたら、「**利用登録**」を選択し、利用規約に同意



③はがきに記載されている登録番号を入力して登録



④お知らせを希望するサービスを選択し、完了

【通知対象制度】 26制度(令和4年10月末時点)

乳児一般健康診査、一日人間ドック費用助成、肺がん・大腸がん検診、骨粗しょう症検診、水痘(水ぼうそう)予防接種、二種混合(ジフテリア・破傷風)予防接種、心身障害児福祉手当、児童扶養手当、ひとり親家庭等医療費助成、母子・父子・寡婦福祉資金、水道料金の減免 など

<https://www.city.chiba.jp/somu/joho/kaikaku/documents/oshirasegaiyou2022.pdf>

(4)スマートシティプロジェクト①

スマートシティプロジェクトとは

スマートシティ推進ビジョンの実現に向けて、現時点で予定している具体的な取組みをまとめたパンフレットです。2023年4月に「スマートシティプロジェクト2023」を発行し、全31プロジェクトを掲載しています。 ※スマートシティプロジェクトは毎年度更新します。



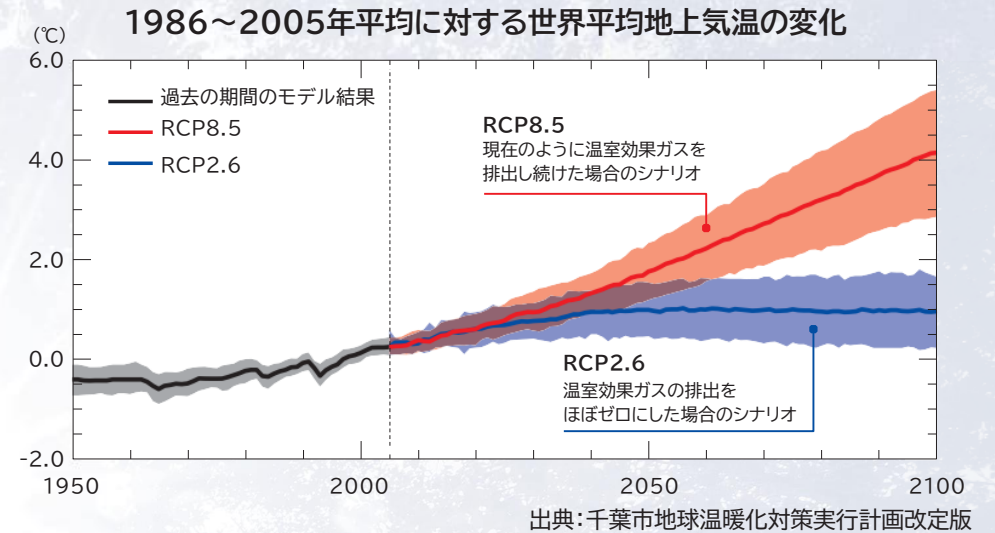
【プロジェクトの内訳】

暮らしがスマート！関連……6プロジェクト
ビジネスがスマート！関連……5プロジェクト
学びがスマート！関連……5プロジェクト
まちがスマート！関連……11プロジェクト
市役所がスマート！関連……4プロジェクト
計 31プロジェクト

リーディングプロジェクト 1 ゼロカーボンシティの実現

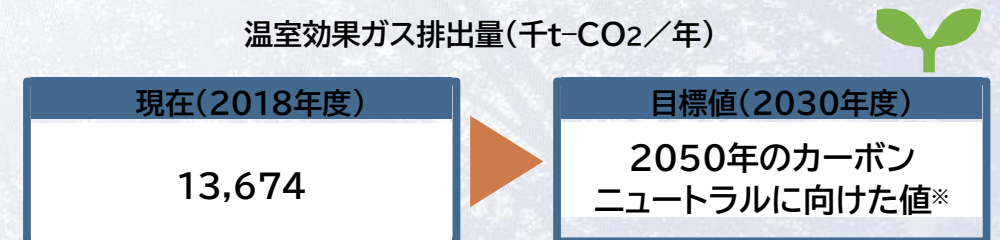
1. 現状と課題

- 地球温暖化の更なる進行が懸念される中で、既に気候変動の影響は、気温の上昇、大雨の頻度の増加や、農作物の品質の低下、動植物の分布域の変化、熱中症リスク、物流への影響の増加など全国各地で起きており、さらに今後、長期にわたり拡大するおそれがある。
- 日常生活や事業活動における省エネルギーの取組みのほか、二酸化炭素を排出しないエネルギーへの代替を進めることで、脱炭素型の社会構築に取り組むことが求められる。
- また、既に影響を及ぼしている気候変動に対して、その影響を回避し、リスクを最小限に抑えるための備えが必要。



2. 目指す姿

- 住宅や建築物のエネルギー収支ゼロを目指すZEHやZEBに加えて環境性能がよい家電製品の普及促進やAIなど先進技術の活用を進めます。
- また、快適にエネルギーを効率よく利用するとともに、再生可能エネルギー活用の拡大など、様々な主体が総力を挙げて取り組むことにより、持続可能な社会に向けて、温暖化の主因といわれる二酸化炭素の排出を実質ゼロにするゼロカーボンシティの実現を目指します。



※国の目標引き上げ(2030年の温室効果ガス排出量を2013年から46%削減)などを受けて、本市は令和5年度早期に、2050年のゼロカーボンシティ実現を視野に入れた新たな地球温暖化対策実行計画を策定予定です。その中で、具体的な数値目標を設定します。

リーディングプロジェクト 1 ゼロカーボンシティの実現

3. 実現に向けた取組み

- 家庭、事業所における省エネの促進
- 建築物の省エネ化、ネットゼロ化の促進
- 再生可能エネルギーの創出、利用促進
- 次世代自動車利用に関する取組みの促進
- 水素エネルギーの活用
- 自立分散型エネルギーの確保
- 気候危機に対する行動変容の促進

5. 令和5年度の主な取組み

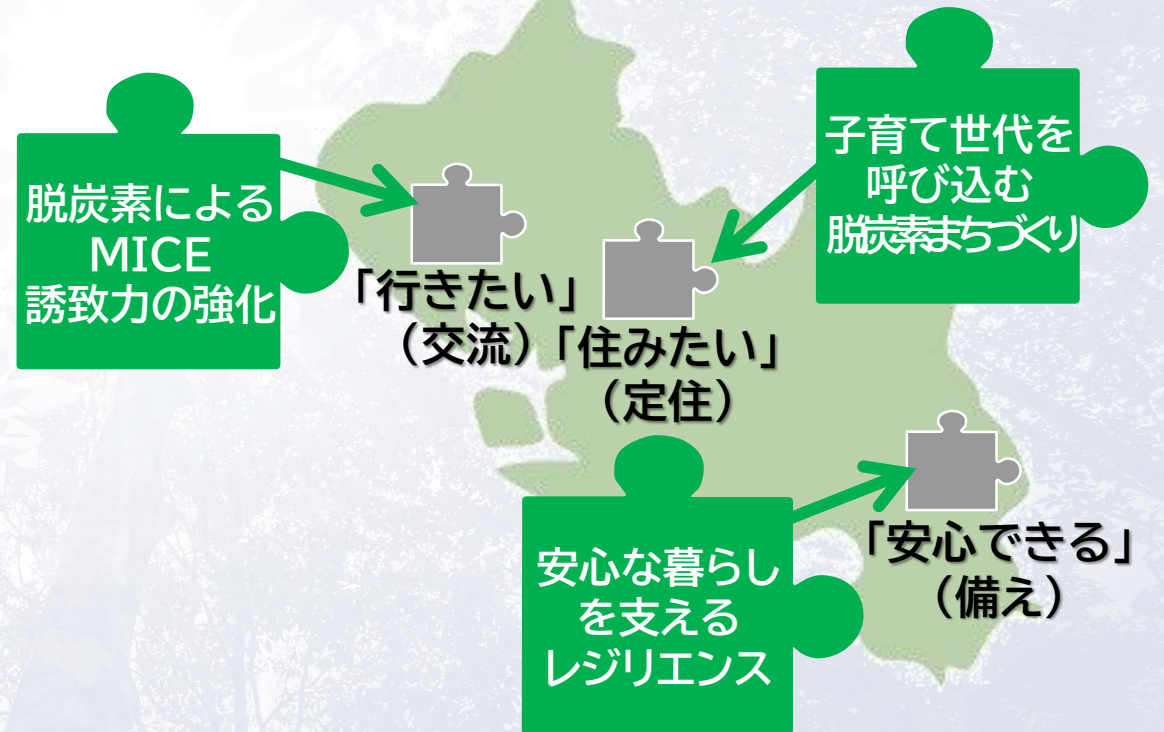
- 脱炭素先行地域に基づく取組推進
- 再生可能エネルギー等設備設置促進
- EV・FCVなどの次世代自動車の普及促進
- 集合住宅向け電気自動車充電設備の普及促進
- ZEH導入の促進
- ZEBの普及促進
- 省エネ最適化診断の促進
- 中小事業者向け省エネ設備の促進
- 中小事業者向け電気自動車充電設備の普及促進
- 脱炭素アドバイザー派遣

4. 脱炭素先行地域事業

脱炭素で磨き上げる都市の魅力～「行きたい」「住みたい」「安心できる」千葉市へ

都市と自然の両面を
あわせもつ魅力の
磨き上げが必要

脱炭素の取組で人が集う、
「行きたい」「住みたい」「安
心できる」千葉市へ



リーディングプロジェクト 2 市役所のスマート化の実現

1. 現状と課題

市民が市役所に
合わせなければならない

- 市役所の指定する場所と時間 でなければ手続きができない。
- 窓口での丁寧な説明などのサービスを希望する市民は、窓口で待たなければならない。
- 窓口での説明が不要な市民でも、窓口に行かなければならない。



申請漏れによりサービスを
受けられない可能性がある

- 忙しくて時間のない方が予防接種や 健診の申請を忘れてしまう。
- 制度を知らなかったことにより、制度 利用の機会を逃してしまう。
- 制度について検索したり、問い合わせ ることが負担



2. 目指す姿

行かなくていい、待たなくていい、
使いやすい市役所

- 従来の窓口に加え、いつでも、どこからでもできる行政手続
- 親切で分かりやすく、一度で済む申請様式
- デジタル活用による多様な相談手法への対応



容易に必要なサービスが
受けられる市役所

- 一人ひとりのニーズに合わせた情報の提供
- 利用手続の負担感なく、行政サービスを提供

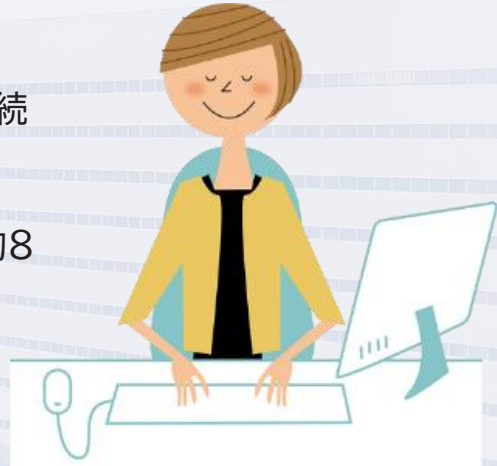


リーディングプロジェクト 2 市役所のスマート化の実現

3. 実現に向けた取組み

市役所への手続のオンライン化

- 来庁の手間を軽減するため、市役所への手続の原則オンライン化を推進
- 令和3年度末時点で、年間の手続件数で約8割に相当する手続をオンライン化



「あなたが使える制度お知らせサービス～For You～」の提供

- 市が保有する住民情報を活用し、各制度の受給対象となる可能性のある方に対し、LINEのメッセージを送付するサービスを提供
- 個別にお知らせを送付することにより、受給漏れの防止を図る。



4. 令和5年度の主な取組み

- より多くの方がオンライン化された手続に接することができるよう、更なる広報を行う。
- 目的の手続に容易にたどり着ける仕組みの検討を行う。

- お知らせの対象制度を拡充する。
また、お知らせ対象制度の更なる拡充に向けて検討を行う。
- より多くの方にお知らせをお届けできるよう、LINEに加え、メールによる通知機能を追加する。

リーディングプロジェクト 3 スマート農業の推進

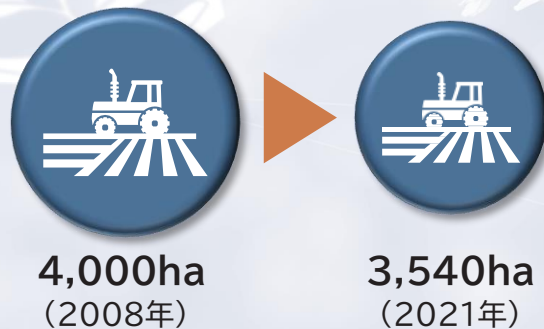
1. 現状と課題

千葉市における農業経営者数の動向

| 年齢層 | ~29 | 30-39 | 40-49 | 50-59 | 60-69 | 70~ | 計 |
|------|-----|-------|-------|-------|-------|-----|------|
| 2005 | 1 | 26 | 147 | 442 | 533 | 710 | 1859 |
| 2010 | 1 | 11 | 94 | 362 | 433 | 645 | 1546 |
| 2015 | 0 | 9 | 48 | 163 | 395 | 475 | 1090 |
| 2020 | 1 | 19 | 30 | 109 | 275 | 477 | 911 |

出典：2005～2015 農林業センサス「販売規模別農業者数（販売農家）」
2020 農林業センサス「経営主年齢階層別の経営体数（総数）」

千葉市における農地の面積



この間、
約▲10%の
農地面積の
減少

農業者の高齢化に伴い、農業経営者が減少傾向にあります。

また、農地も、年々減少傾向にあります。

農業経営者の維持拡大や農業の成長産業化に向けて、農業法人の参入や青年農業経営者の確保・育成を促進するとともに、農業現場の効率化・省力化を進めていくことなどにより、生産性を高めていくことが求められます。

2. 目指す姿



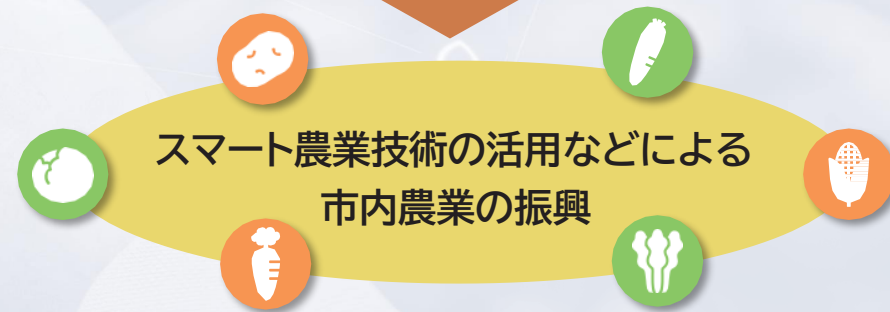
多様な意欲ある担い手の
出現による活力ある農業の実現



先端技術を用いて省力化・効率化
された、生産性の高い農業の実現



農業分野への活発な法人参入の実現



リーディングプロジェクト 3 スマート農業の推進

3. 実現に向けた取組み

1. 農政センターの機能強化



スマート農業技術を用いて、農政センター内でSDGsの社会情勢に沿った燃油削減実証実験を実施

2. データを駆使した農業経営の支援



気候や栽培環境、収穫量や市況等のデータを総合的に見える化して活用する技術を農業技師が習得し、データを活用した農業経営をサポート

3. スマート農業技術導入支援



農業の生産性向上や省力化、高品質生産に繋がるICTやロボット技術を活用した機器や農業機械の導入などに対する支援を実施

4. 令和5年度の主な取組み

- **スマート農業技術実証**
再生可能エネルギーの活用実証や収益性向上の実証を行うトマト栽培用のハウス2棟を農政センターに整備
- **データを駆使した農業経営の支援**
R3のイチゴ(施設園芸)、R4のニンジン(露地)の事例研究により農業技師が習得したデータ活用型技術指導のスキルを定着化
- **スマート農業機器の貸出し**
農政センターに導入した環境モニタリングシステムを農業者に貸し出し、農業技師の指導でスマート農業技術の導入を支援

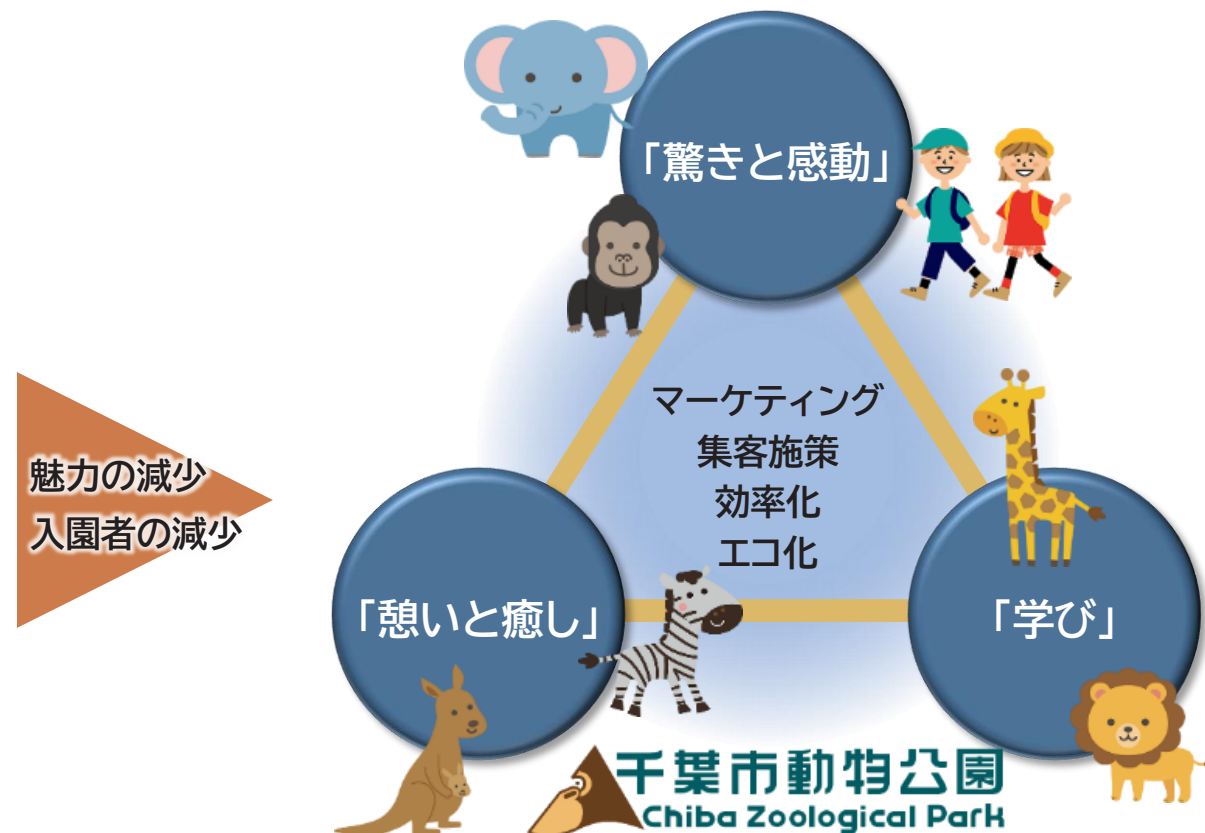
リーディングプロジェクト 4 スマート動物園

1. 現状と課題



上記の課題解決に向けて、平成26年3月より、「千葉市動物リスタート構想」を策定し、「市民に身近な動物園としての存在と、都市の活性化につながる集客観光施設としての再生を図る」ことを基本理念とし、より愛され、親しまれる、市民生活に根付いた(共創・協創・交流)施設への刷新を推進中。

2. 目指す姿



動物園としての社会的使命(種の保存・調査研究・教育・レクリエーション)の高度化を図るとともに、来園者の満足度向上に向けて、最先端のテクノロジーやデータの活用など様々な時代に即した取組を実施し、常に進化し続ける動物園を目指します。

リーディングプロジェクト 4 スマート動物園

3. 実現に向けた取組み

1. 「驚きと感動」の創出

- 自動運転技術の活用
(開かれた施設づくり)
「オンライン動物園」
「園内周回体験イベント」の開催



2. 「憩いと癒し」の創出

- 井戸水を利用した屋外空調装置
(通常の冷房を使った空調に比べ約75%のCO₂排出削減)



3. 「学び」の創出

- ICTやITサービスの活用
 - QRコードによる動物ガイド
 - 自動運転+動物ガイド
 - AIを活用した動物生態や展示環境の見える化
 - アプリやYouTubeの導入、SNSとの機能連携



4. マーケティング・エコ&効率化

- 特殊菌を活用した動物の糞尿・残滓の消滅
- 脱炭素等に資する新規設備の導入
- AI活用による来園者動向の把握と施策反映
- アプリによる集客施策(プッシュメール・クーポン他の来園促進)

4. 令和5年度の主な取組み

- 電子決済システムの拡充(駐車場)
 - 駐車場精算機キャッシュレス決済の導入
(接触の極少化と車両渋滞緩和)
- リモート環境を活用した新たな教育機会の創出
 - リモート環境の活用領域拡充
(不登校児童・老人介護施設等福祉プログラムへの展開検討)
- デジタルコンテンツ制作・配信強化
 - 動物解説の有料化(有料の動画配信サービス)
- マーケティング強化と業務効率化
 - AI活用による来園者への混雑状況等配信
- バイオマス熱ボイラー導入調査



混雑状況配信のイメージ

リーディングプロジェクト 5 モビリティの活用による回遊性の向上

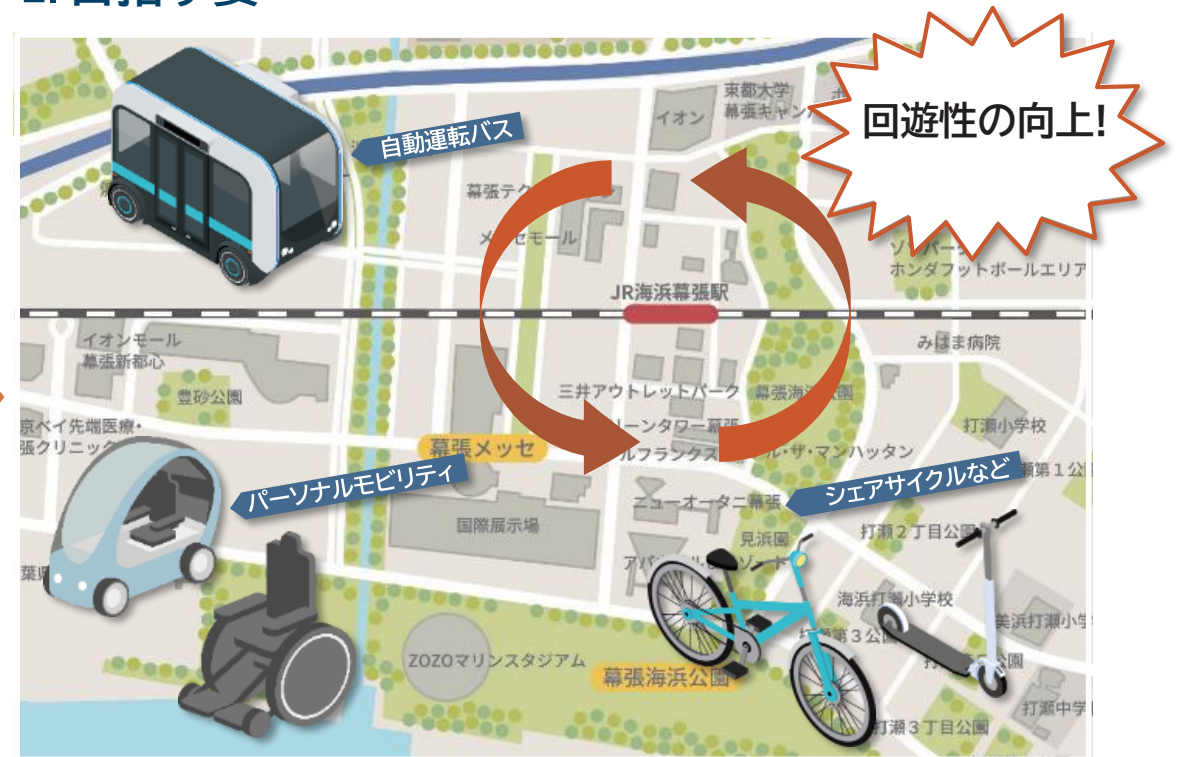
モビリティの活用によるまちの回遊性向上をはかるため、幕張新都心において先行的な取り組みを推進します。

1. 現状と課題



各拠点間に一定の距離があり、来街者の多くはJR海浜幕張駅と目的施設との「単純往復」が多く、周遊促進による活性化が求められます。

2. 目指す姿



モビリティを始めとするテクノロジーの活用により、エリア内のすべての人が拠点間をストレスなく行き来し、様々なサービスを容易に利用できる賑わいあふれるまちの実現を目指します。

リーディングプロジェクト 5 モビリティの活用による回遊性の向上

3. 実現に向けた取り組み

幕張新都心版MaaSの実現

- JR幕張豊砂駅の開業を契機とした回遊性向上の取り組みを開始
- 多様なモビリティサービスと幕張新都心の宿泊・観光・購買・医療サービス等を一体的に提供するサービスの実現を目指す



自動運転バスの運行

- エリア内を自動運転バスが巡回
- 人的コストを最小化し、安全安心な送客を実現



パーソナルモビリティシェアリングサービスの提供

- 自動送迎・無人回収可能なシェアリングサービスを提供
- ラストワンマイルの移動手段を整備



4. 検討主体 ▶ 幕張新都心モビリティコンソーシアム

移動サービスを中心に、商業やスポーツ、観光等幕張新都心の発展に寄与する事業を推進するための産官学民による団体



5. 令和5年度の主な取り組み

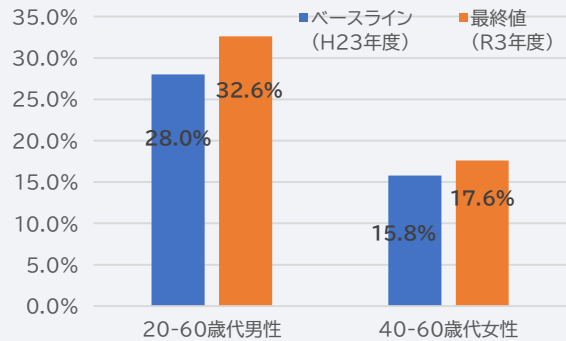
- 自動運転モビリティ等社会実装サポート
モビリティサービスの社会実装を実現するため、民間事業者による実証実験を支援
- デジタルツインを活用した自動運転車サービス導入支援
委託
現実世界を再現した仮想空間上で、自動運転技術を検証

リーディングプロジェクト 6 ICT等の活用による健康づくりの促進

1. 現状と課題

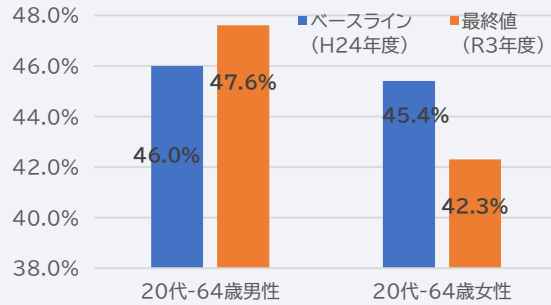
就労世代の健康づくりへの取組みが進んでいない
(健康無関心層を含めた市民の行動変容が重要)

肥満者の割合

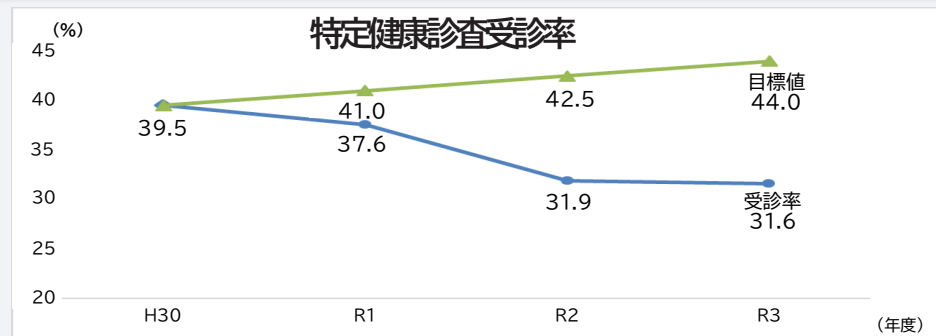


(出典) 健やか未来都市ちばプラン最終評価報告書

1日1時間以上歩行又は同等の身体活動をする割合



健診受診率が低い(40%以下)
(生活習慣病予防の啓発が必要)



(出典) 目標値: 第2期千葉市国民健康保険データヘルス計画
受診率: 法定報告

2. 目指す姿

日々の生活の中で継続して健康づくりに取り組んでいる

- 肥満を予防し適正体重を維持する健康的な食生活について理解し実行している
- 自分に必要な身体活動量を知り、日常生活の中でウォーキング等に継続して取り組んでいる
- 運動に関する正しい知識を身につけ、自分に合った運動を行っている



定期的に健診受診や必要な医療を受け、自ら健康行動をとることができる

- 定期的に健診を受け、自身の健康状態を把握している
- 特定健診の結果、特定保健指導の対象となった市民が、生活習慣の改善に取り組み、体重または腹囲の減少を実感し、その取組みを継続できる
- 健診の結果、医療が必要な市民や、糖尿病等で既に治療中の市民が、自身の健康状態を理解し、重症化予防のために必要な行動をとっている



3. 実現に向けた取組み

人々が主体的かつ継続的に健康づくりに 取り組むための環境整備

- 健康づくりの取組みへのインセンティブ付与
- 健康づくりの取組みに、一人でも参加、継続しやすくなるツールの検討
- 企業や関係団体と連携した職場における健康づくりの推進



健康への関心・意識の改革

- 継続的に健診受診をする意識や受診行動を促進できるような環境づくり
- 生活習慣の改善や健康意識、参加意欲の高まる保健指導・プログラムの企画、魅力的なツールの提供
- 健診結果を踏まえ、重症化予防のため、継続的な治療と生活習慣予防の行動を促す仕組みづくり



4. 令和5年度の主な取組み

新たな健康インセンティブ事業の検討

- ICTの活用による魅力的で参加しやすい、健康づくりのためのツールを検討



ICTを活用した特定保健指導の実施

- ICT(ウェアラブル端末)の活用など、新たな手法も取り入れた継続的な特定保健指導の実施



リーディングプロジェクト 7 デジタルデバイド対策

1. 現状と課題

- 社会のデジタル化を進めるなかで、デジタルを使いこなせる方々と、そうではない方々の「デジタル格差」(デジタルデバイド)が生じている。
- このような課題に対応し、誰もがデジタル化の恩恵を享受できる社会を実現することが求められている。



2. 目指す姿

- 民間事業者や国などと連携し、高齢者などが身近な場所でスマホの使い方を相談できる重層的なサポート体制を構築する。



リーディングプロジェクト 7 デジタルデバイス対策

3. 実現に向けた取組み

スマートフォン講座の開催



スマートフォン相談会の開催



4. 令和5年度の主な取組み

① スマートフォン講座・スマートフォン相談会

講座・相談会の回数や内容を拡充するとともに、スマホの利用状況や理解度に応じて講座を選択できるようにする。

② 重層的な相談体制の構築に向けた検討

高齢者などが身近な場所でスマホの使い方を相談できるよう、民間事業者や国などと連携し、重層的な相談体制の構築に向けて検討を進める。

- 基本講座：電源の入れ方・電話のかけ方・カメラの使い方 等
- 応用講座：アプリやインターネットの利用方法・新型コロナワクチン接種証明書の申請方法など
- セミナー形式で実施。講師が受講者（定員12名）に対して、テキストを用いてスマホの基本的な使用の講座を行う。

電源の入れ方

1-A 電源ボタンはどこに？

掲載機種：iPhone 8
対応OS：iOS 15.3

電源の入れ方は機種によって異なります(ホームボタンのある機種)

- 1 電源ボタンを長押しします
- 2 しばらくするとロゴマークが出て起動を開始します
- 3 パスコードを入力します
- 4 ホーム画面が表示されます



アプリの追加の仕方

3-A App Storeからインストール

App Storeからアプリをインストールしましょう。

App Store(アップストア)は色々なアプリが入手でき、ここにあるアプリは全てAppleの認証を得ていますので安全性が保証されています。なお有料と無料のアプリがありますのでご注意ください。

- 1 ホーム画面で「App Store」を押す

| アイコン | 概要 | アプリ |
|--------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
|  | App Storeに行き、アプリ(無料)をインストールしてみましょう | App Store iOS Ver.16.4.1 無料 |



リーディングプロジェクト 7 デジタルデバイス対策 スマートフォン相談会

- 1対1でスマートフォンの使用方法等に関する相談会を実施。
- LINEの使用方法、メールの設定方法、スマホで撮影した写真の保存方法などの様々な相談事について携帯事業者がその場で対応・回答を実施

何でも
相談OK！

YouTubeってどうやって観るの？

スクリーンショットってなに？

自分のメールアドレスってどこで確認するの？

QRコードってどうやって読み込むの？

ニュースの画面をお気に入りにしたい！

私は何ギガ使えるの？



(5) サービス実装の進め方① スモールスタートからのステップアップ

1 地域課題・市民ニーズの把握

- ・ 市内・市外からの課題提起
 - ・ 民間企業や学術機関等からの提案
- 地域課題と民間企業等の保有する技術等とのマッチング



2 プロジェクト検討体制の構築

- ・ 市民、民間企業、学術機関、行政などによるプロジェクト検討体制の検討
 - ・ サービス内容の検討
- 多様な主体によるサービス検討



3 サービスの実証・実装

- ・ 実証実験の実施
 - ・ 実証結果の検証・評価、サービス改善
- サービスの実装

例) 千葉市動物公園における来園者予測等の実証



混雑状況



混雑予測

(5) サービス実装の進め方② 国の補助金の活用

当面取り組むデジタル田園都市国家構想関係施策一覧から抜粋

- 地方創生推進交付金(Society5.0タイプ)(内閣府)
- デジタル田園都市国家構想推進交付金(デジタル実装タイプ)(内閣府)
- 個別最適な学びを実現するためのGIGAスクール構想の推進(文部科学省)
- 未来技術社会実装事業(内閣府)
- 地域課題解決のためのスマートシティ推進事業(総務省)
- 地域新MaaS創出推進事業(経済産業省)
- 日本版MaaS推進・支援事業(国土交通省)
- スマートシティ実装化支援事業(国土交通省)
- スマート農業の実装を促進するための農業農村整備(農林水産省)
- まちづくりのデジタルトランスフォーメーションの推進(国土交通省)

(5)サービス実装の進め方③ スマートシティ実証補助事業

スマートシティの実現に向けて、テクノロジーの活用などにより市民生活の質の向上を図るとともに、持続可能なまちづくりを進めるため、地域課題の解決や新たな価値の創造に資する民間企業等が行う実証事業の実施に要する経費等の補助を行うことを目的に、今年度創設した補助事業です。

【補助内容】

- ・関係団体等のステークホルダーとの協議・調整
- ・実証フィールド提供
- ・各種相談支援
- ・財政支援(補助金の交付)

【財政支援の内容】

- ・事業名 スマートシティ実証事業(テーマ型) (※)
- ・補助上限額 5,000,000円
- ・補助率 補助対象経費の1/2以内
- ・補助対象経費 報償費・旅費・機器装備費・実証事業実施経費(人件費)など

(※)本市が明示する地域課題に対し、テクノロジーの活用により解決を図るもので、公益性が高く、市民生活の質の向上に資する実証事業

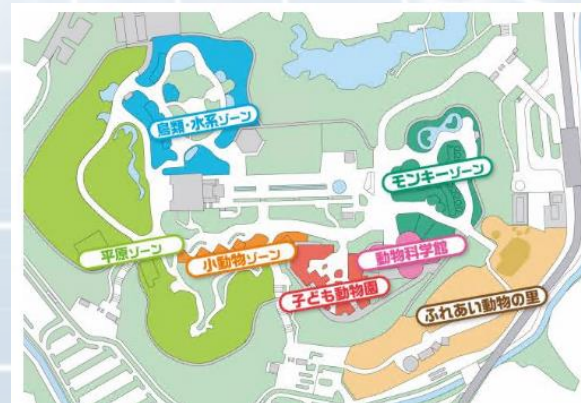
(5)サービス実装の進め方③ スマートシティ実証補助事業

地域課題や市民ニーズに基づく2件の実証実験を実施

【1件目】(補助額:5,000千円)

千葉市動物公園におけるAIやカメラを活用した来園者予測等の実証

- ・対象課題 来園者のサービス向上や職員の適正配置
- ・実証内容
 - 園内の混雑予測及び情報配信
 - 園内施設の混雑状況の可視化及び情報配信
 - 駐車場の混雑状況の可視化及び情報配信
- ・補助事業者 株式会社NSW(共同企業体:インテル株式会社)



(5) サービス実装の進め方③ スマートシティ実証補助事業

地域課題や市民ニーズに基づく2件の実証実験を実施

【2件目】(補助額:1,064千円)

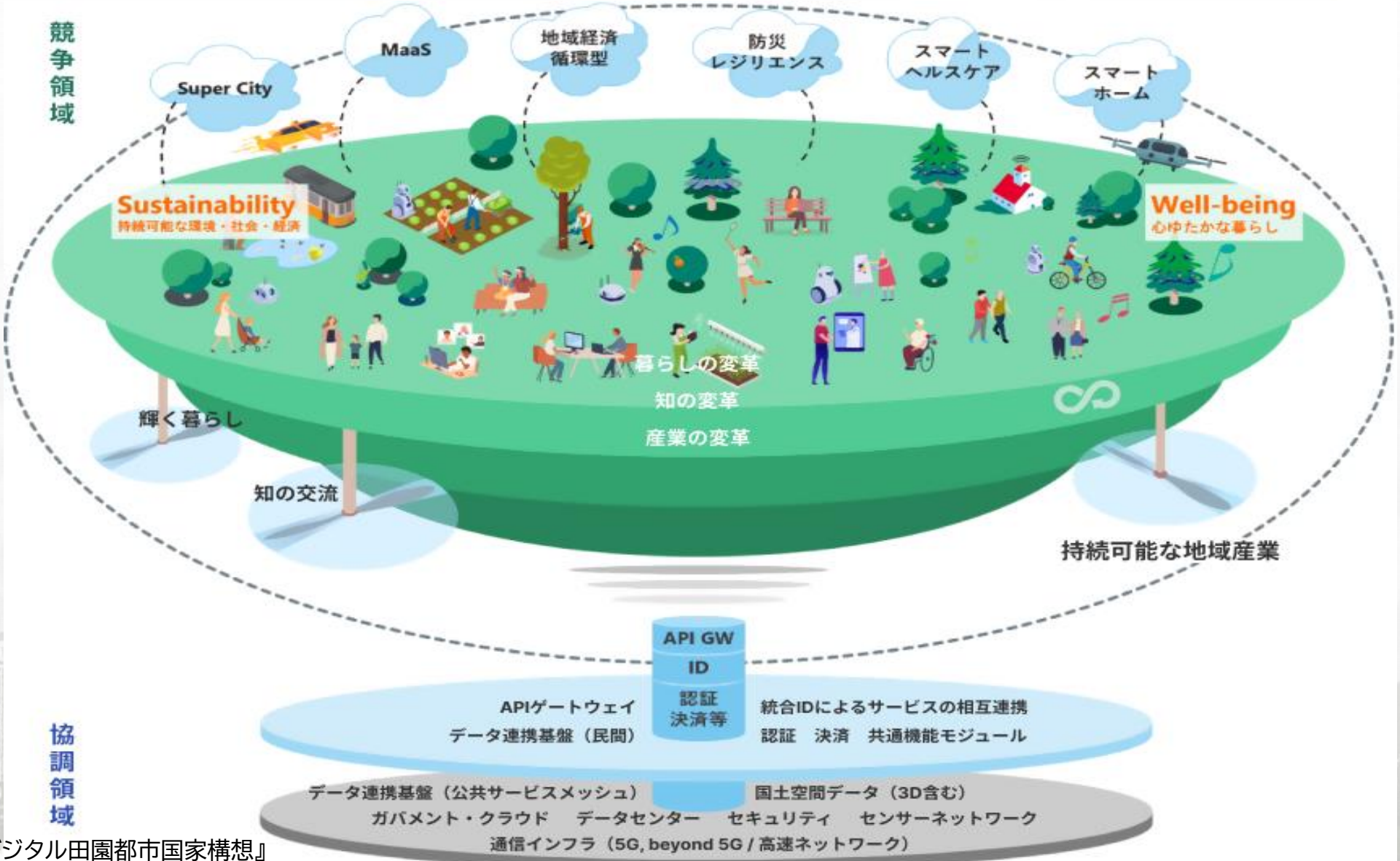
ウェアラブル端末の装着により収集されるデータを活用した特定保健指導の実証

- ・対象課題 特定保健指導の実施率の向上
- ・実施内容 特定保健指導対象者に腕時計型のウェアラブル端末を装着させ、日々収集されるデータに基づき、管理栄養士等が特定保健指導を実施する。
- ・補助事業者
株式会社バリューHR(共同企業体:株式会社テックドクター)



(5) サービス実装の進め方④ ウェルビーイング指標の活用

デジタル田園都市国家構想 = 「心ゆたかな暮らし」(Well-being)と「持続可能な環境・社会・経済」(Sustainability)を実現を目指す。



(5) サービス実装の進め方④ ウェルビーイング指標の活用

- ウェルビーイング指標は、地域における幸福度・生活満足度を計る4つの設問と、3つの因子群(“生活環境”、“地域の人間関係”、“自分らしい生き方”)から構成され、因子群は合計24のカテゴリーに細分化され、カテゴリー毎に、主観指標にはアンケート設問、客観指標にはKPIが設定されています。
- 主観指標・客観指標ともに、データが偏差値化されています。



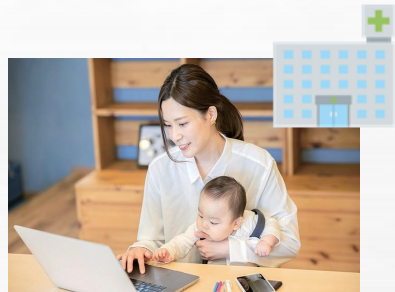
(6) より便利で快適なサービスの創出に向けて①

多様なスマートシティサービスは、各々の課題等を解決するために創出されるものですが、それぞれのサービスで活用しているデータを連携することで複合的なサービスとなり、より便利で快適に利用することが可能になります。千葉市でもスモールスタートからのステップアップを目指し、将来的な複合サービスの創出を目指します。

一般的なサービス



モビリティの
インターネット配車予約



医療機関の
インターネット受診予約



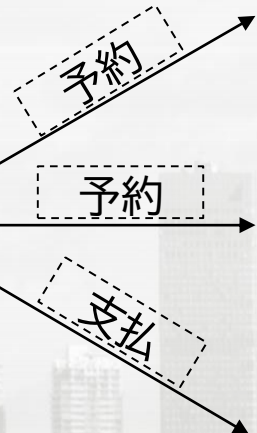
キャッシュレス決済

各サービスが個別
に提供されている

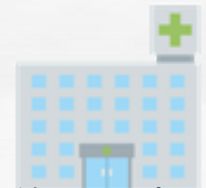
複合的なサービス (イメージ)



複合アプリケーション



予約したモビリティで
医療機関まで移動



予約した時間に
医療機関を受診



キャッシュレス決済で
全ての支払いが1回で完了

1つのアプリケーションで
予約から支払まで完結

(6) より便利で快適なサービスの創出に向けて②

より便利で快適なサービスの創出に当たっては、行政のみならず、市民の皆様をはじめ、民間事業者や学術機関、市民団体等の幅広い、多様な主体の連携・協力が必要です。

それぞれが保有する知見やデータ、アイデア等を出し合いながら検討を深めていくことで、より便利で快適な複合的サービスの創出が期待されます。

【各主体に期待される役割】

市民・市民団体

- ・地域課題・市民ニーズの提供
- ・双方向型の積極的な取り組みへの参画
- ・積極的なサービス利用・フィードバック

民間企業

- ・実装を前提としたサービス開発・実証
- ・汎用的で持続可能なサービス設計
- ・技術や知見の提供

学術機関

- ・学術的・専門的知見の提供
- ・学生の積極的な取り組みへの参画
- ・最先端研究の実証

行政

- ・スマートシティの方向性の提示
- ・プロジェクトの全体調整・運営
- ・国等との調整

みんなで作る「快・適」なまち！

